

授業科目名	看護の統合実習			担当教員	看護の基盤・クリティカルケア・成育看護（母性）・成育看護（小児）・老年・慢性・精神看護学領域看護教員
開講年次	4年前期	セメスター	7	時間数(単位数)	135 (3)
必修選択	必修	授業形態	実習	使用教室	
授業の目的	病院や施設などで臨床に即した看護を経験する中で、専門職者として必要な知識・技術・態度を統合できる能力を獲得する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習計画を遂行するために、必要な関係者との交渉・調整ができる。 2. 人間の尊厳と人権の擁護に配慮しながら、対象者の持つ健康問題に対して実習計画に基づき看護実践ができる。 3. チームアプローチや多職種連携の視点を用いて、医療チームの一員として看護師の役割を理解できる。 4. 創造的に看護を探究するために、実習で経験した看護実践を記述して分析し、その成果をレポートにまとめることができる。 				
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ	本実習は、看護の統合科目の位置づけで、4年間の臨地実習の最終実習であり、5つのディプロマポリシー到達に向けた目標を掲げている。4年間の学生生活を振り返り、自己の看護実践に対する探究課題に基づき、実習を行う中でそれぞれの力を養っていく。				
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力
	○	○	○	○	◎
授業計画					
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者
	<p>学生自身が選択したテーマに基づき実習計画を立案し、主体的に実習を行う。</p> <p>I. 実習方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習期間 臨地での実習は、原則として2019年6月10日～7月12日の期間に原則として12日間以上の臨地実習を行う。 2. 実習場所 各領域が指定する医療機関 3. 実習の進め方 自らが選択したテーマや実習目的を達成するために立案した実習計画に基づき看護実践を行う。実践した看護を分析し、創造的に看護を探究した成果をレポートにまとめる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習要項をよく読み、実習目的、実習目標を十分に理解しておく。(予習) ・ 自らが選択したテーマに関連する領域の知識・技術を十分に振り返った上で実習へ臨む。 	<p>1時間</p> <p>2週間</p>	各領域の担当教員

先行履修科目	3年次後期までに開設されている必修科目の単位をすべて修得していること。
テキスト	特に指定しない。
参考文献	関連する文献は学生各自で収集し、活用する。
評価方法	実習目標の達成度（50%）、実習への取り組み姿勢：医療施設（10%）、実習への取り組み姿勢：教員（10%）、課題レポート（30%）
教員等の実務経験	各領域で、看護師・助産師・保健師として勤務経験を持つ教員がその経験を生かし、指導にあたります。
メッセージ	大学生活最後の実習になります。卒業までに解決すべき自己課題を明確にし、実践に即した実習ができるように、綿密な実習計画を立案し、より多くのことを吸収してきてほしいと思います。臨床ナース、担当教員とコミュニケーションを図り、充実した実習にいきましょう。